

# かわかんネット

発行：一般社団法人 東北河川管理技術研究会事務局

〒980-0802 仙台市青葉区二日町 18-25 シャルム二日町 3F

E-mail: triver@ae.auone-net.jp Tel: 022-398-8831 Fax: 022-398-8832

## 年頭にあたって

東北河川管理技術研究会

会長 宮内 利夫

新年を寿ぎ謹んで新春のご祝詞を申し上げます。

昨年は、嬉しい話題として6月ブンノンペンで開催されたユネスコ世界遺産委員会において「富士山-信仰の対象と芸術の源泉」として世界文化遺産に登録、また、9月には2020年の東京オリンピック・パラリンピック開催が決定し、「もてなし」が話題となり、平成13年の10大ニュースに選ばれています。

一方、気象事象等では、7月中旬以降猛暑が続き、8月12日には四国の四万十市で最高気温が41℃となり国内最高気温が更新され、熱中症対策が話題となりました。

河川関係では、7月～8月は時間雨量30mm規模の集中豪雨が頻発し、寒河江ダム・月山ダム・長井ダム・御所ダムで既往最大流入量を記録し、特に御所ダムでは計画高水流量2,450 m<sup>3</sup>/sをはるかに上回る3,733 m<sup>3</sup>/sの最大流入量となりました。

9月の台風18号による降雨では、東北全域で大規模な出水があり、特に四十四田ダムが既往最大流入量となり、岩木川においては三世寺・幡龍橋水位観測所で計画高水位をそれぞれ53cm・64cm上回る既往最高水位となりました。

10月には、台風26号による降雨で、三春ダム外4ダムで洪水調節を実施しました。

各洪水において、直轄河川ではダムによる洪水の流量調節により大きな災害の発生が防がれています。

このほか、越谷市や秋田市では竜巻の発生による被災がありました。

これら最近のデータからは、異常気象現象の増加傾向が見られ、これに対する検討の必要性を痛感しています。

政府は昨年12月、自然災害に強い国づくりを進める「国土強靱化基本法」を成立させ、法律が有効に機能し、災害の防止・減災に向けた取組みに期待されています。

当研究会の事業については、平成23～25年度の包括試行業務として実施している「涌谷出張所管内」及び「伏黒出張所管内上流」の河川巡視業務は最終年度を向えて、それぞれ巡回・専門巡視等、皆様のご協力によりほぼ計画どおり着実に実施しています。

また、講習会として前年に引き続き、河川管理講習会・ダム管理講習会及び流量観測講習会（秋田市）を実施し、全国土木施工技士連合会の継続学習制度（CPDS）の認定を受け、受講証明書を発行しており、本年度も継続実施を予定しています。

このほか、昨年11月25日にはダム管理分科会を立ち上げ、4分科会となりそれぞれの課題について、会員皆様の技術力と経験・知識を活用して成果を上げたいと思っています。

今後とも、当研究会の活動と着実な進展のため会員皆様のご支援とご協力をお願いします。

新年にあたり会員皆様の、ご健康と幸多い年でありますよう、ご祈念申し上げます。

## ダム管理分科会設置

第1回ダム管理分科会を東北地方整備局技術エキスパート会議（ダム管理技術研究会）と合同開催しました。（ダム管理分科会は会員20名で運営）

合同会議に先立ち分科会会長高橋聰氏、副会長石川進作氏、伊藤尚敬氏を選出しました。

### 1. 開催日・場所

平成25年11月25日（月）仙台市 東急ビル

### 2. 内容

1) 今後のダム管理のあり方について 意見交換



## 講習会の開催

一般社団法人東北河川管理技術研究会では、業務の一環として、河川管理講習会、ダム管理講習会、流量観測講習会を開催しました。

3講習会共、今年度より（一社）全国土木施工管理技士会連合会のCPDSの学習プログラムの認定を受け、受講者には受講証明書を発行しました。

### I. 河川管理講習会

河川管理への認識を深めるとともに、河川巡視の要点等についての技術力の向上を図ることを目的に開催しました。

#### 1. 開催日・場所

平成25年11月 9日（土）岩手県建設会館建設研修センター 5社 36名受講

平成25年11月30日（土）（一社）東北地域づくり協会 6社 49名受講

#### 2. 講習会内容

- |                  |    |             |
|------------------|----|-------------|
| 1) 河川に関する最近の話題   | 講師 | 東北地方整備局河川部  |
| 2) 河川と河川管理について   |    | 東北河川管理技術研究会 |
| 3) これからの河川管理について |    | 東北河川管理技術研究会 |
| 4) 河川の河道管理について   |    | 東北河川管理技術研究会 |
| 5) 堤防点検と気象情報について |    | 東北河川管理技術研究会 |



河川管理講習会 仙台会場



盛岡会場

## II.ダム管理講習会

「ダム操作」と「貯水池の維持管理」並びに「ダム堤体の維持管理」、「管理設備の維持管理」を的確・迅速に実施することが必要であるため、ダム管理に対する認識を深めるとともに、ダムに関する技術力の向上を図ることを目的に開催しました。

### 1. 開催日・場所

平成25年11月16日(土) (一社)東北地域づくり協会 7社 49名受講

### 2. 講習内容

- |                  |    |             |
|------------------|----|-------------|
| 1) ダム管理に関する最近の話題 | 講師 | 東北地方整備局河川部  |
| 2) ダム管理の要点について   |    | 東北河川管理技術研究会 |
| 3) ダム管理の実務事例について |    | 東北河川管理技術研究会 |



## III.流量観測講習会

流量観測の意義・現場での精度管理とその必要性・業務中の安全管理等、流量観測におけるさまざまな課題等に対する意識の向上と技術力の向上を図ることを目的に開催しました。

### 1. 開催日・場所

平成25年12月 7日(土) 秋田県JAビル 13社 27名受講

### 2. 講習内容

- |                   |    |                  |
|-------------------|----|------------------|
| 1) 河川に関する最近の話題    | 講師 | 東北地方整備局秋田河川国道事務所 |
| 2) 流量観測データの活用について |    | 東北河川管理技術研究会      |
| 3) 流量観測の留意点について   |    | 東北河川管理技術研究会      |



流量観測講習会

## 研究会動向

### 1. 動向

- 1) 平成 25 年度 第 1 回理事会<平成 25 年 6 月 11 日>
- 2) 平成 25 年度 代表理事会<平成 25 年 9 月 26 日>
- 3) 平成 25 年度 第 2 回理事会<平成 25 年 10 月 2 日>
- 4) 第 1 回ダム管理分科会（東北地方整備局技術エキスパート会議合同開催）<平成 25 年 11 月 25 日>

## トピックス

### 「特別警報」

気象庁では、平成 25 年 8 月 30 日から新たに「特別警報」がスタートしました。「特別警報」は「警報」の発表基準をはるかに超える数十年に一度の大災害が起これると予想される場合に発表され、**市町村による住民への周知活動も義務化**されました。「大雨特別警報」の場合は、台風や集中豪雨により数十年（50 年）に一度の降雨量が予想され、若しくは、数十年に一度の強度の台風（伊勢湾台風級）や同程度の温帯低気圧が来襲する場合に発表されます。「洪水」は、**全国約約 400 の河川において指定河川洪水予報を発表しているため、特別警報の設定はありません**。大雨特別警報や他現象の特別警報についての詳細については、気象庁のホームページをご覧ください。

### 編集後記

新年あけましておめでとうございます。

本会報は平成 25 年度初めての発行となってしまいました。会員の皆様となお一層の連携を深めるための場として、情報提供に努めていきたいので、会員の皆様が活動しているなか思いつくことができましたら是非投稿いただければ幸いです。今年もよろしくお願いたします。

（編集 川名 慶紀）